

UNITED NATIONS



NATIONS UNIES

世界自閉症啓発デー・シンポジウムに寄せる国連事務総長からのメッセージ

本日、第10回世界自閉症啓発デー・シンポジウムにお集まりいただきました皆様にご挨拶ができることを嬉しく思います。

世界自閉症啓発デーは、自閉症の人たちの人権のために立ち上がり、自閉症の人たちへの差別に対して訴えていく日となっています。

今年、強調すべきことは、少女を含め自閉症の女性に権利を与えることの重要性です。

彼女たちは、他の人と平等な立場での教育や雇用への障壁、性と生殖に関する権利や自己選択の自由を奪われ、そしてそれらに関する政策へ関与する機会の不足等、多くの課題に直面しています。

性差にとらわれない平等と女性に力を与えるための私たちの活動は、世界中の女性に届かなくてはなりません。そして、「持続可能な開発目標」の実現を目指す私たちの努力は、2030年アジェンダの「誰ひとり取り残さない」というもっとも大事な誓いのためにあることを忘れてはなりません。

世界自閉症啓発デーには、すべての自閉症の人たちの完全参加を促進し、彼らの権利と基本的自由を行使するために必要な支援を確実に行うという我々のコミットメントを改めて確認します。

(日本実行委員会事務局による仮訳)